

第3回 日本海側拠点港の形成に関する検討委員会  
議事概要

日時：平成23年3月3日（木）17：30～19：00

場所：中央合同庁舎3号館 4階幹部コーナー会議室1

- 冒頭、日本海側拠点港の募集にあたって必要となる、「選定基準」や「日本海側港湾のあるべき姿」等について、それぞれ前回の委員会での意見・指摘等を踏まえた修正案を示し、さらに議論を深めた。
- 具体的には、定量的評価に関する選定基準として、国際海上コンテナ輸送や国際複合一貫輸送（国際フェリー・国際RO-RO船）、外航クルーズなどの輸送モードや、大宗貨物の中で想定している原木について、2015年および2025年における取扱貨物量や航路の便数などをどのように設定するか議論した。
- また、目標・施策の優位性評価に関する選定基準として、対岸諸国の動向や背後の立地産業の動向を踏まえた内容となっているか、他港との機能分担や連携が図られているか、実現のための体制が整っているか、物流の効率化が図られているか、などに着目して評価を行うことを確認した。
- 最後に、今後の委員会の進め方について議論を行い、3月中旬頃公募、5月上旬頃に募集を締め切り、夏頃、委員会としての結論を得ることを目標とする旨再確認した。
- なお、次回（第4回）は、公募締め切り後の5月下旬頃開催予定。次回以降、応募者によるプレゼンテーションを順次行っていただく予定。